

【工夫】町内の空きスペースを、出来ることを持ち寄って集会所に

空きスペースを活用した集会所を作り、定期的が集まっている町内があると聞ききたので、元町内会長のNさんを訪ねてきました。

◇「元パン屋さんを集会所に」

町内会にある集会所「さふらん」は、元はパン屋さん。しばらく空き家になっていたところ、オーナーの方が町内で使ってもらえたら、と無償（光熱費負担）で提供され、Nさんが町内会長だった平成29（2017）年6月から集会所として利用されています。利用するにあたり、町内の方の寄付で棚や机、電子レンジや食器などを持ち寄り、入り口の装飾も皆さんの手作りです。さらに、お隣の方が、中古キッチンの取り付け、壁の修理、照明器具のメンテナンスなど、全てしてくださいました。「始める前はお付き合いがなく、全く知らなかった。いい人の連鎖が広がっています。」と、Nさん。「さふらん会」は、毎月第2木曜、第4金曜日の10時～12時に町内会有志メンバーで集会（ものづくりなど）を、毎週水曜日の午後に英語教室（先生も町内の方）を開催しています。行事の案内は回覧しますが、声を掛け合い、途中から参加されるようになった方もいらっしゃるそうです。もちろん、町内以外の方が来られてもOK。

◇「顔の見えるおつきあい」

訪ねた日は「軍手で鶏を作ろう」。手を動かしながら、入院した話、つらかった話、言いにくいこともさらっと話題にし、常に笑い声が響いていました。最近、越してきた方は、「いけずする人もいないし、女同士の集まりができて楽しい」と。オーナーの男性が差し入れを持って来られたり、近所のおじさんが集まりに使う材料をお願いされたりと、ちらほら出入りも。「心に壁を作らず、繋がる楽しさをもっと知ってほしい。人生楽しみましょう！」と語る世話好きのNさんが町内会長の時に、空き家を提供して下さるタイミングが合い、みんなの持っているアイデアを持ち寄って、あたたかい居場所ができていました。



【N町内会】左京区。加入数約80世帯（賃貸アパート除く）。アパートはほぼ学生。東西にわかれた2つのエリアからなる町内だが、集会所ができて、日常的に顔を合わせない人にも会えるようになったという。